

## 『長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所 研究紀要』(1～20巻) 総目次

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 1巻1号 2003年3月 (全68頁)

巻頭言 (学長 森泰一郎) (i)

(学術研究部長 渡辺勝義) (ii)

(地域総合研究所所長 佐藤快信) (iii)

<一般論文>

地域づくりにおける地域連携と地域資源 (佐藤快信) (1)

大学に於けるサービスラーニングの開発に関する研究 —概念と取組の状況—

(開浩一、藤崎亮一、神里博武) (9)

小地域福祉活動と福祉コミュニティ形成の課題 (神里博武) (17)

精神障害者の地域就業支援に関する一考察 (村上清) (25)

Blake's Novelistic Idea: The Fundamental Idea of the Contrary (山崎有介) (33)

<研究ノート>

認可外保育施設の利用者調査を通して沖縄県の保育所整備を考える (神里博武) (47)

障害者の自立生活センターにおける非営利組織の社会サービス

—「全身障害者」の自立生活に伴う介助問題の視点から—

(藤崎亮一) (55)

<翻訳>

ディアコニーと近代における内国伝道の歴史 第3章 (山城順) (68)

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 2巻1号 2004年3月 (全84頁)

<一般論文>

長崎県における精神障害者社会適応訓練事業の現状と課題 (山口弘幸) (1)

キリスト教社会福祉(ディアコニー)の源流 旧約聖書における (山城順) (11)

日本の英語教育: 批判からの展開 (山口千晶) (23)

教育メディアは大学生の英語学力向上に寄与できるか

—ウォークマンとパソコンに焦点をあて—

(早田武四郎) (29)

Building Writing Skills of Japanese Students in an EFL Class (Joseph Z. Romero) (41)

老人のQOLに関する尺度開発の一研究 (張昌鎬、尹敬榮、金龍澤) (47)

第2言語コミュニケーション能力教育の諸特性について (大里泰弘) (61)

<研究ノート>

沖縄における小地域の福祉力形成の課題

—小地域福祉推進組織、地域ボランティアを中心に—

(神里博武) (69)

タイにおける国際開発協力活動と日本の地域社会開発の連携に関する一考察

—長崎におけるHIV/AIDS教育の可能性と課題—

(入江詩子) (79)

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 2巻2号 2004年3月 (全36頁)

<一般論文>

障害学生支援 (1)

村上清 (執筆担当: 序章・第2章・第4章・終章)

中野伸彦 (執筆担当: 第1章・資料)

山城順 (執筆担当: 第3章)

開浩一 (執筆担当: 第5章)

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 3巻1号 2005年3月 (全152頁)

<一般論文>

- 中高生に中国語を教えるということ (兪稔生) (1)
- HAM患者の現状とセルフヘルプ活動についての考察 (村上清) (7)
- 工業高校性の英語学習実情調査と斯界英語教育の進展策に関する一考察  
—商業高校を除く実業高校英語教育も視野に入れて— (早田武四郎、江崎國治) (13)
- 「近代化」モデルの身体論的展開 (亘明志) (21)
- 戦後補償問題における運動と記憶 I  
—老岐芦辺町朝鮮人海難事故をめぐって— (福留範昭、亘明志) (33)
- 地域基盤のHIV/AIDS問題学習のあり方に関する一考察 (入江詩子) (41)
- Challenges Facing International Students in Writing Academic Essays (Chiaki Yamaguchi) (51)
- 中心商業地域の地域づくり —諫早市の事例を通して— (藤崎亮一、佐藤快信) (57)
- 病院ボランティア・コーディネーターに関するコミュニティ心理学的考察  
—支援システムとしての可能性— (平野優、内村公義) (65)
- 精神障害者のセルフヘルプ活動と社会参加  
—県連組織の現状と課題— (山口弘幸) (77)
- LCA (ライフサイクル アセスメント) の一方法について (相楽和男、藤本容子) (89)
- 1930年代の「地方」都市における青年団活動の展開  
—北海道函館市を事例として— (菅原良子) (103)
- 地域社会移行に向けた精神障害者社会復帰施設の今後の課題  
—九州地域における実態調査を通して— (内山憲介) (111)
- <研究ノート>
- 九州における精神障害者家族会の現状とニーズ (村上清) (115)
- 大島町の商業 —アンケート調査から— (佐藤快信、藤崎亮一) (121)
- <翻訳>
- ディアコニーと近代における内国伝道の歴史 第5章 E. バイロイター著/山城順訳 (127)

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 4巻1号 2006年3月 (全134頁)

<一般論文>

- 学校緊急支援の諸理論と実際 (金原俊輔) (1)
- 中日言語の表現 量詞選択の思考 (I) (高山乾忠) (11)
- 戦後補償問題における運動と記憶II  
—強制動員被害者の遺骨調査をめぐって— (福留範昭、亘明志) (17)
- 大学生の英語語彙学習におけるメタ認知方略の効果 (早田武四郎) (27)
- 中日両国間における諸問題の底流 (兪稔生) (35)
- 高齢者の生きがいと地域づくり  
—長崎県江迎町における「元気えむかい」の取り組み— (菅原良子、藤崎亮一、内山憲介) (45)
- 地域福祉計画の進行管理を中心とした評価手法及び評価尺度の開発研究  
—バランス・スコアカードを使うパイロット実施の準備— (田中英樹、ベイ・ヨンジュン、上地武昭、中本昌幸、又吉里美) (53)
- 聖なるものとコミュニティ —日中宗教文化の比較研究 (1) 福建省— (高山乾忠、渡辺勝義) (I)
- <研究ノート>
- 精神障害者ピアヘルパーの就労移行促進に向けた一考察  
—講座修了後のフォローアップのあり方を中心に— (山口弘幸) (63)
- <翻訳>
- 「ディアコニーと近代における内国伝道の歴史」第6章 E. バイロイター著 (山城順) (71)

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 5巻1号 2007年3月 (全126頁)

<一般論文>

小値賀 JICA 研修実施報告 (佐藤快信) (1)

Preliminary Address of Three Constructivist Test Designs  
Constructive, Collaborative, and Boundary Tests (Merlin S. Levirs) (13)

現代社会と喜劇 —ギリシャ神話から現代喜劇への変遷 (山崎有介) (27)

語気詞の意味 (高山乾忠) (35)

漢字における造語の歴史 (高山乾忠) (39)

行動療法と認知行動療法による不登校児童生徒への再登校支援 (金原俊輔) (45)

社会開発としての子育て支援のあり方をめぐって

—タイ北部パヤオ県におけるエイズ遺児問題の発生と対応の事例から—

(入江詩子、菅原良子、開浩一) (57)

タイ HIV 感染者の Posttraumatic Growth

—NGO 支援か Posttraumatic Growth に果たした役割について—

(開浩一、入江詩子、菅原良子) (71)

連動文の範疇とレベル別教授法 (兪稔生) (79)

聖なるものとコミュニティ —日中宗教文化の比較研究 (二) 江西省— (高山乾忠、渡辺勝義) (I)

<研究ノート>

障害者就労&竹割り箸プロジェクト (村上清) (87)

<翻訳>

ディアコニーと近代における内国伝道の歴史 第7-8章 (E. バイロイター著/山城順) (93)

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 6巻1号 2008年3月 (全92頁)

<一般論文>

障害者就労支援とNPO法人の役割 (村上清) (1)

長崎県伊王島の開発の経緯と離島指定 (鈴木勇次) (5)

戦後補償問題における運動と記憶Ⅲ —強制動員被害者の遺骨返還— (福留範昭、亘明志) (17)

島嶼開発における観光開発の影響 —八重山諸島の観光を事例に— (佐藤快信) (25)

地域づくりにおける地域リーダー養成のあり方をめぐって

—タイNGOの若者スタッフの事例から—

(菅原良子、開浩一、入江詩子) (33)

言語の多属性 —程度副詞の口語表現— (高山乾忠) (43)

スペクタクルの支配とメディア文化 (亘明志) (49)

聖なるものとコミュニティ

—日中宗教文化の比較研究 (三) —内<sup>ふ</sup>蒙<sup>ふ</sup>古<sup>ほ</sup>自<sup>と</sup>治<sup>と</sup>区 (呼和浩特) —

(高山乾忠、渡辺勝義) (I)

<翻訳>

エリカ・シューハート著「なぜ、わたしが？」目次・序・第1,2章 (山城順訳) (57)

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 7巻1号 2009年3月 (全78頁)

<一般論文>

中国におけるソーシャルワーク教育の現状と課題 (金文華) (1)

発達障害の児童生徒に適用された行動療法の効果の展望 (金原俊輔) (5)

わが国の有人島の定義に関する一考察 (鈴木勇次) (23)

韓国における過去清算の推進と抵抗 —強制動員問題を中心に— (福留範昭) (29)

危機からのスピリチュアリティの覚醒とポジティブな変容 (開浩一) (35)

- 中国における障害者の雇用・就業についての考察 (金文華) (41)  
 子どもの育ちと地域社会の在り方に関する一考察  
 —タイ北部・東北部における描画テストからみえてきたもの— (入江詩子、有門恵、菅原良子) (47)  
 <研究ノート>  
 ド・ロ神父の外海での活動の研究意義 (佐藤快信、入江詩子、菅原良子、鈴木勇次) (73)

**長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 8巻1号 2010年3月 (全42頁)**

<一般論文>

- 不登校の児童生徒に適用された行動療法の技法の展望 (金原俊輔) (1)  
 韓国における過去清算の推進と抵抗Ⅱ —韓国のマスコミの報道を通して— (福留範昭) (11)  
 接触場面における日本語母語話者の発話について  
 —多文化共生社会の言語運用を考える— (齊藤仁志、錢坪玲子) (19)  
 学童保育が果たしてきた役割と今後の課題 —コミュニティ心理学の視点から— (内村公義) (29)  
 これからの観光の方向性 —沖縄県の観光を事例として— (佐藤快信) (31)

**長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 9巻1号 2011年3月 (全48頁)**

<一般論文>

- 自然独占下での公共中間財の効率的供給メカニズム (佐藤茂春) (1)  
 商店街の活性化と観光地化に関する一考察 (佐藤快信、藤崎亮一) (7)  
 明治期の宣教師の社会事業の背景  
 —イエズス会・パリ外国宣教教会の宣教方針を基に— (佐藤快信) (15)  
 対馬における観光振興の可能性 —上対馬町地域を事例に— (佐藤快信、藤崎亮一) (23)  
 杵岐芦辺湾朝鮮人海難事故をめぐる新たな展開と課題 (亘明志) (31)  
 韓国におけるヒューマンサービス組織の成果管理に関する一考察 (裴瑛俊、中野伸彦) (37)

**長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 10巻1号 2012年3月 (全82頁)**

<一般論文>

- 重症心身障害児施設における実践活動とリフレクション研究  
 —福祉専門職に求められる倫理観と価値観について考える— (占部尊士、村岡則子、森永佳江、大原朋子) (1)  
 福祉学生のもつ援助対象者イメージとパーソナリティの変容についての研究 (占部尊士、村岡則子、森永佳江、大原朋子) (11)  
 地域づくり分野におけるブランド活用への一考察  
 —地域ブランドの視点から— (藤崎亮一) (25)  
 ドロ神父の活動と時代背景 (村上清) (31)  
 地域における子育て支援ボランティア養成の課題  
 —諫早市子育て支援サポーター養成講座受講生アンケートから— (入江詩子、菅原良子) (41)  
 地域における子育て支援ボランティア養成講座のあり方に関する一考察  
 —諫早市子育て支援サポーター養成講座を事例に— (菅原良子、入江詩子) (51)  
 戦時朝鮮人強制動員と統治合理性 (亘明志) (61)  
 五島動脈硬化研究 (草野洋介、鈴木勇次、前田隆浩) (69)  
 <研究ノート>  
 明治期のキリスト教と教育事業 —カトリックを事例に— (佐藤快信、菅原良子、入江詩子) (75)

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 11巻1号 2013年3月 (全90頁)

<一般論文>

地域リハビリテーション実践におけるソーシャルワーク的アプローチの実証研究 (その1)

—地域住民参加型の介護予防事業を実践例として—

(占部尊士、太田勝代、村岡則子、大西良、大原朋子) (1)

現代日本社会の多文化共生化と言語調整

(錢坪玲子) (11)

カール・ロジャーズの生涯

(金原俊輔) (21)

就職面接で外国人留学生の受け答えに対し日本人ビジネスパーソンは何をどう捉えるのか

—留学生のキャリア支援における基礎的研究—

(齊藤仁志) (53)

F.ガタリの記号論的ダイアグラムとM.フーコーの言説分析

(亘明志) (61)

<研究ノート>

幕末から明治初期におけるキリスト教からみた琉球

(佐藤快信、菅原良子、入江詩子) (67)

2012年度 最優秀賞卒業研究論文

韓国人観光客の増加を目指した地域観光の活性化 —雲仙市を事例に— (韓進、南川恵、齊藤仁志) (75)

2012年度 優秀賞卒業研究論文

世界を駆け抜ける日本のアニメ —その心理学的影響を探る— (高橋裕美子、山崎有介、金原俊輔) (79)

不登校 —不登校のケアについて—

(小林広弥、亘明志、金原俊輔) (83)

住民自治組織の組織化のための戦略的マネジメント手法の活用

—長崎市ダイヤランド3丁目の住民自治組織活動を中心に—

(田端葉月、花城祐樹、裴瑛俊、開浩一) (87)

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 12巻1号 2014年3月 (全102頁)

<一般論文>

福祉専門職養成における体験型プログラムの効果検証

—車いす体験による学習内容の分析—

(占部尊士、村岡則子) (1)

Rage and Wishing for Peace: A Case Study of Posttraumatic Growth  
in Nagasaki Atomic Bomb Survivors

(Koichi Hiraki) (11)

日本語教育の現状と課題

—J F日本語教育のスタンダードと日本語OPIを通して—

(錢坪玲子) (23)

食に関する地域社会活動が生きがい感に及ぼす影響

—地域高齢者の調査結果を通して—

(村岡則子) (31)

20世紀における漢字の受難

(胡振剛、郝蕊) (39)

五島列島の潜伏キリシタン墓の研究 (旧木の口墓所調査)

(加藤久雄、野村俊之、白濱聖子、藤本新之介) (53)

潜伏キリシタン墓の配置原理・旧木の口墓所

(野村俊之、加藤久雄、白濱聖子、藤本新之介) (71)

<研究ノート>

2013年度 優秀卒業研究論文

長崎のコミュニティビジネスの現状と展望を探る

(今井恵、本村美羽、ベイ・ヨンジュン、加藤久雄) (81)

新生前診断とダウン症 —ダウン症児を育てる母親への支援に関する一考察—

(菖蒲久美、中野伸彦、入江詩子) (85)

笑顔で利益を生み出すことはできるのか —独裁者ゲーム実験からの示唆—

(白濱聖子、佐藤茂春、金原俊輔) (89)

漫画に見られる語用論的視点 —日本語授業への取り組みに向けて—

(山口祥代、齊藤仁志、金原俊輔) (93)

長崎キリスト教史における韓国人カトリック信者 —殉教者を中心に—

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 13巻1号 2015年3月 (全112頁)

<一般論文>

- カウンセリング・マインドという概念および態度が日本の生徒指導や教育相談へ与えた影響  
主に問題点に関して (金原俊輔) (1)
- 協働学習とピア評価 ～日本・中国の大学日本語クラスにおける実践を通して～ (錢坪玲子、周璞) (13)
- アクティブラーニング導入期における参加型学習の役割 (入江詩子) (23)
- 石組墓の成立と変化についての予察  
—福江島旧木の口墓所の潜伏キリシタン墓をめぐって— (野村俊之、加藤久雄) (35)

<研究ノート>

- 三井楽教会資料館収蔵の信心具について (白濱聖子、加藤久雄、野村俊之) (47)
- 五島列島の潜伏キリシタン墓の研究 (旧木の口墓所調査その2)  
(加藤久雄、野村俊之、白濱聖子、藤本新之助) (71)
- 防滅災まち歩き事業 —森山地区社会福祉協議会から— (佐藤快信、村岡則子、入江詩子) (85)

2014年度 優秀卒業研究論文

- 地域活性化におけるシティプロモーション  
—喜々津商店街“たらみ市”を通して— (大串志保、加藤久雄、佐藤快信) (95)
- 海外ボランティア体験と大学生のジェネリックスキルに関する意識との関連  
(大山くらら、片山徹也、南川恵) (101)
- メンバーがフラットな関係である高校野球のチームとは  
—『ONE PIECE』に学ぶ「生きる力」を育むヒント— (池田空駆、菅原良子、金原俊輔) (107)

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 14巻1号 2016年3月 (全124頁)

<一般論文>

- 卒業生調査から見る大学力 カリキュラム改革の有効性 (南慎郎、菅原良子) (1)
- 長崎ウエスレヤン大学の実習教育の現状と課題  
—相談援助実習に関するアンケート調査結果を通して— (金文華) (15)
- 臨床と教育の協働による医療ソーシャルワーカー養成2  
—自由記述データの計量テキスト分析から学生の学びを中心に— (村岡則子、佐藤快信、占部尊士、廣田悦子) (35)
- 五島列島の潜伏キリシタン墓の研究3 (旧木の口墓所・遺物編)  
(野村俊之、加藤久雄、白濱聖子) (41)

<研究ノート>

- 五島列島における潜伏キリシタン墓地に関する分布の基礎的研究  
(研究動向)『長い旅路』のはじまり (加藤久雄、野村俊之) (61)
- ロシア・コミ共和国におけるソローキン研究動向を中心に— (吉野浩司) (71)
- アクティブ・ラーニングの評価に関する一考察  
—コミュニティサービスラーニングの評価に焦点をあてて— (錢坪玲子、岩永耕、吉野浩司、裴瑛俊、藤崎亮一、金文華) (85)

2015年度 優秀卒業研究論文

- 地域資源としてのジャガイモを用いたフードツーリズムによる消費活性化  
(下坂龍之介、加藤久雄、佐藤快信) (103)
- 中日における大学のキャリア教育に関する考察 (王文静、錢坪玲子、齊藤仁志) (109)
- さとり世代 多様化する価値と文化 (沖朋那莉、亘明志、開浩一) (115)

韓国の統営市における日本人を中心とした外国人観光客の誘致と課題

(白ダウン、加藤久雄、裴瑯俊) (119)

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 15巻 1号 2017年 3月 (全76頁)

<一般論文>

原爆の憎しみを越えて (開浩一) (1)

寒村トウリヤからサンクト・ペテルブルク大学までの足跡を追って

—P.A.ソローキン『長い旅路』第2部をめぐる現地調査— (吉野浩司) (5)

保育・児童福祉分野実習における学生の学びに関する一考察

—韓国の生態 幼児教育の視察をとおして— (宮地あゆみ) (23)

長崎県特産品「かぼちゃ」の有効利用法に関する研究

(増本雅也) (29)

潜伏キリシタン墓の数理分析の視界

—旧木の口墓所採取遺物組成の分析— (加藤久雄 野村俊之) (33)

生月島の墓制 —石組墓を中心に—

(野村俊之 加藤久雄) (43)

<研究ノート>

2016年度 優秀卒業研究論文

現代社会における青少年の心の居場所

(手水大樹、菅原良子、佐藤快信) (55)

諫早市森山地区における「ふれあいいきいきサロン」活動の効果について

(高稲真裕子、中野伸彦、岩永耕) (61)

ベトナム人を対象とした日本語教育方法と学習方法

(ゲン ブキム ジュエン、南川恵、齊藤仁志) (67)

長崎県におけるインバウンド観光による地域経済活性化

(山口伸貴、加藤久雄、矢島邦昭) (71)

長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 16巻 1号 2018年 3月 (全112頁)

<一般論文>

海外留学プログラムにおけるマレーシアの可能性 —英語教育の観点から—

(濱崎大) (1)

ふれあい・いきいきサロンによる効果の地域性

—サロンの担い手への質問紙調査から—

(岩永耕、佐藤快信、中野伸彦、岩永秀徳、村岡則子、小川睦、林田真由美、原章) (9)

五島列島における潜伏キリシタン墓に関する分布の基礎的研究 2

(野村俊之、加藤久雄) (17)

介護事業協同組合の役割と意義

(山口弘幸) (31)

五島列島の潜伏キリシタン墓の研究 4 (旧木の口墓所調査)

(野村俊之、加藤久雄) (39)

1920年代の亡命ロシア知識人とチェコスロヴァキア社会学

—P.A.ソローキン『長い旅路』第3部をめぐる現地調査— (吉野浩司) (53)

コンピテンシーによってリテラシーを向上させる教育の可能性

—長崎ウエスレヤン大学の初年次教育を例に— (吉野浩司) (71)

<研究ノート>

2017年度 優秀卒業研究論文

セルフヘルプグループが依存症者に与える影響について

(岩永弥莉、ペイ・ヨンジュン、廣田悦子) (81)

リウマチ患者の生活課題とソーシャルワーク

—長崎大学病院の外来患者への意識調査から— (永吉美優、廣田悦子、岩永耕) (84)

ベトナムの有機農業の現状と課題

(ゲン・ゴック・タオ・グエン、入江詩子、加藤久雄) (93)

持続可能な朝市をつくるための戦略と実践のメカニズム —たらみ市を事例に—

(森崎花菜、加藤久雄、佐藤快信) (99)

- 日本文様の伝承における一考察 (野田あかり、南川恵、齊藤仁志) (105)  
 日本と海外における動物保護活動の比較 (山本菜那美、銭坪玲子、胡振剛) (109)

**長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 17巻 1号 2019年 2月 (全136頁)**

＜一般論文＞

- 各種テストをもちいた基礎学力の検証 (磯本光広) (1)  
 多量飲酒者に対する節酒プログラムの効果 ―宮古島における取り組み―  
 (波名城翔、真栄里仁、伊藤満、下地由美子) (13)  
 宮古諸島における精神科長期入院患者の退院支援  
 ―A病院の精神保健福祉士の取り組みを中心に― (波名城翔、森田康雅、古藤由梨佳) (21)  
 アジアにおける政治システムと人権に関する思想 (フレイク・リー) (31)  
 福祉のまちづくりと総合的な学習の時間 ―実践例に学ぶ「ともに生きる力」―  
 (中野伸彦、森和弘) (45)  
 子どもの外傷後成長に向けた臨床への取り組み (開浩一) (59)  
 五島列島における潜伏キリシタン墓に関する分布の基礎的研究 3  
 ―奈留島の潜伏キリシタン墓地― (野村俊之、加藤久雄) (65)  
 地域協働型インフラメンテナンスの仕組み作り  
 ―シティズンシップを育てるコミュニティサービスラーニングの実施計画―  
 (吉野浩司、磯本光広) (69)

＜記事＞

- オープンアクセス研究モデルに関する考え方と学術研究における倫理と出版の基準  
 (フレイク・リー) (81)  
 1917-2017: 百年の共産主義に対する反省 (フレイク・リー) (87)

＜研究ノート＞

**2018年度 優秀卒業研究論文**

- A市に住む生活困窮世帯の子どもの学習支援事業に関する一考察 (田中未亜、中野伸彦、岩永秀徳) (93)  
 発達障害児を育てる母親の葛藤と役割  
 ―自閉症スペクトラムの子どもの育てる母親から学ぶ支援の展望―  
 (谷川彩美、中野伸彦、金原俊輔) (103)  
 地域の人達が幸せになるまちづくり (川上華奈、菅原良子、佐藤快信) (111)  
 ベトナムの文字 (漢越語、字喃) に関する研究 (ド・バン・フォン、銭坪玲子、吉野浩司) (121)  
 China's Forbidden "Premature Love" and Marriage Coercion (Ryu Kyo, Joseph Romero) (129)

**長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 18巻 1号 2020年 3月 (全132頁)**

＜一般論文＞

- Web調べ学習における問題点の検証 (磯本光広) (1)  
 離島における自殺の現状 (波名城翔) (17)  
 島嶼で生活する後期高齢者の地域生活ニーズに関する研究  
 ―長崎県新上五島町の調査から― (波名城翔、岩永秀徳) (25)  
 温泉観光地におけるユニバーサルツーリズム推進の視点と方法に関する一考察 (山口弘幸) (35)  
 外傷後成長 (PTG) の視点からみた病弱者の病理・生理・心理的研究の動向 (開浩一) (45)  
 長崎県肢体不自由教育研究 (第3報)  
 ―特別支援教育時代の肢体不自由特別支援学校 (A校) の教育課程と指導法の検討を中心に―  
 (菅達也、平田勝政) (53)  
 学生視点から考える地域課題解決型学習を通じた高大連携に関する研究 II



- 高大連携型プロジェクトにおけるルーブリックによる評価と検証—  
 (江頭知遼、加藤久雄、登り山和希、白武義治、浦田恵子) (61)
- 高大・産官学協働によるインフラメンテナンス活動  
 —長崎街道インフラさるくインフラin大村での学びとその展開—  
 (吉野浩司、磯本光広、原口俊明) (73)
- カンボジアにおける児童養護施設の現状と課題  
 (菅原良子、南川恵) (81)
- <研究ノート>  
 聖書とダマパダ：仏教とキリスト教思想 (フレイク・リー) (95)  
 仏教、神道、キリスト教における汚染と純度 (フレイク・リー) (107)  
 東アジアにおける「プリンセス症」の社会的メカニズムの考察 (フレイク・リー) (111)
- <2019年度 優秀卒業研究論文>  
 諫早市の公民館の現状とこれから —長野県を事例に地域づくりの視点から—  
 (植松凜、菅原良子、佐藤快信) (117)
- 自然体験活動の効果 (田原拓朗、菅原良子、佐藤快信) (125)

**長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所研究紀要 19巻 1号 2021年 3月 (全144頁)**

- <一般論文>  
 高田保馬の家郷肥前三日月 —草花の匂う社会学の誕生 (吉野浩司) (1)
- 長崎県肢体不自由教育・病弱教育研究 (第4報)  
 —特別支援教育時代の肢体不自由・病弱特別支援学校 (B・Z校) の検討を中心に—  
 (菅達也、平田勝政) (19)
- 長崎県における「ふるさと教育」に関する統計学的研究Ⅰ  
 —研究背景編①「ふるさと教育」と郷土教育の比較—  
 (江頭知遼、加藤久雄、登り山和希、石部邦昭) (27)
- 長崎県における「ふるさと教育」に関する統計学的研究Ⅱ  
 —研究背景編②「ふるさと教育」に関する政策の集成—  
 (江頭知遼、加藤久雄、登り山和希、石部邦昭) (33)
- 韓国におけるコミュニティケアの展望と課題 (バイ・ヨンジュン) (59)
- <研究ノート>  
 二元論の哲学に関する一考察：死に対する形而上学的研究と死後と来世の論理的存在の二元論的視点  
 (フレイク・リー) (65)
- COVID-19対CCPウイルス：セマンティクスとモラルに関する討論  
 (フレイク・リー) (79)
- 島原半島ユネスコ世界ジオパークを活かしたユニバーサルツーリズムの整備に関する検討  
 (山口弘幸、開浩一) (91)

**<2020年度 優秀卒業研究論文>**

- 長崎県における「ふるさと教育」に関する統計学的研究  
 —長崎県の「ふるさと教育」を中心に(抜粋)— (江頭知遼、加藤久雄、石部邦昭) (101)
- 現代日本社会において求められる「宗教的なもの」について  
 (スキビツカ マグダレナ エヴァリーナ、銭坪玲子、林田朋子) (113)
- 地方都市における高齢ドライバーのあり方に関する一考察  
 —選択可能な社会を目指して— (浦川涼夏、小川あかり、中尾倅介、中野伸彦、岩永耕) (127)

**鎮西学院大学 地域総合研究所研究紀要 20巻 1号 2022年 3月 (全144頁)**

<一般論文>

医学英語の語構成を活かした語彙指導方法	(林田朋子) (1)
効果的な英語多読指導方法について	(林田朋子) (7)
亡命ロシア知識人ジョルジュ・ギユルヴィッチの現代フランス社会学・人類学への貢献	(吉野浩司、阿毛香絵) (13)
雲仙普賢岳噴火災害時における特別支援学校の対応	
—噴火災害・30年を振り返って—	(菅達也) (27)
COVID-19影響下におけるモーターボート競走事業の発展要因	(登り山和希) (39)
精神保健福祉を学ぶ学生の精神障害当事者への関心領域	
—メンタルヘルスマガジンを活用した授業の検討に向けて—	(力久 愛) (47)
カナダモデルのICEループリックによる評価と検証	(江頭知遼、登り山和希、加藤久雄) (53)
連想法を用いた教育実習の事前指導の在り方に関する研究 (その1)	(菅原良子) (69)
Posttraumatic growth (PTG) 介入プログラム	(開浩一) (87)
切手でたどる障害者福祉の国際的動向 —国際障害者年40年—	(山口弘幸) (97)
<研究ノート>	
島原半島ユネスコ世界ジオパークにおけるジオガイドへのユニバーサルツーリズム研修と検討課題	(山口弘幸、開浩一) (105)
<b>&lt;2021年度 優秀卒業研究論文&gt;</b>	
伊王島を事例とした産官学民連携による観光まちづくり	
—選択可能な観光を目指して—	(松川美波、加藤久雄、白武義治) (115)

(付記)

「長崎ウエスレヤン大学」は、鎮西学院創立140周年を契機に学院としての一体感と連携性を強めるため2021(令和3)年4月1日より「鎮西学院大学」と校名を変更しました。その改称に伴い20巻1号より「鎮西学院大学地域総合研究所研究紀要」と誌名変更(巻号は継承)して継続発行することになりました。